



2024年12月期 第1四半期決算説明資料

株式会社 イメージ・マジック

2024年5月15日

証券コード : 7793

目次

- 1 会社概要
- 2 業績
- 3 今後の成長戦略
- 4 Appendix

事業概要図

オンデマンドプリント
サービス 当社領域

ソリューション
サービス 当社領域

他社領域



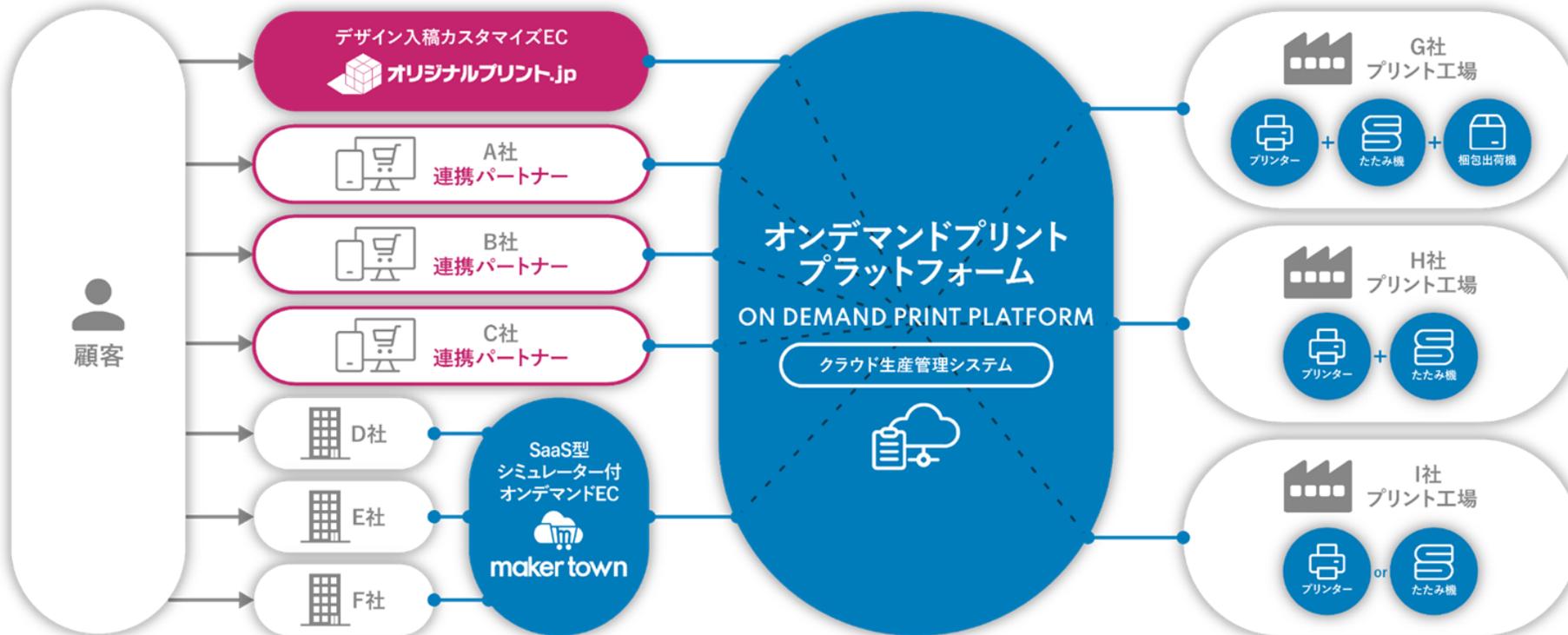
受注システム



クラウド生産管理
システム



ハードウェア



個性と創造性溢れる 豊かな社会づくりに貢献します。

“プリント×IT”で起こす、イノベーション



**簡単・便利な
モノづくりを実現**

お客様が簡単/便利にモノづくりができ、お手頃価格で欲しいタイミングでお手元に届くことを実現する。



**オンデマンド
生産市場拡大に貢献**

工場のモノづくりのDX化をサポートし、オンデマンド生産市場拡大に貢献する。



**在庫を減らし
つくる責任を果たす**

オンデマンド生産できるアイテムを拡げ、世の中の無駄な在庫を減らし『つくる責任』を果たす。



**ソリューションを
グローバルに提供**

世界中から最適なソリューションをマッチアップし、信頼されるサービスをグローバルに提供していく。

サステナビリティ(ESG/SDGs)

サステナビリティにおける重要課題（マテリアリティ）を設定 事業活動を通して、社会課題の解決と企業価値向上を実現

イメージ・マジックは、創業時より「必要なものを必要な分だけ作る」というポリシーを掲げ、環境負荷の低減に取り組んできました。
これからもテクノロジーを活用した事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



環境



社会



ガバナンス



- ・ オンデマンドアパレルで持続可能なモノづくりを推進
- ・ 在庫廃棄を抑制するオンデマンド生産の業界インフラ改善
- ・ 環境に配慮したESG経営とモノづくりの仕組み作り
- ・ 環境負荷の低減に貢献する顔料インクと昇華染色の採用
- ・ 協働ロボットアームによる省人化と生産性向上
- ・ AI活用による業務改善と省エネルギー化



- ・ 働きがいある仕事と技能支援によるDX推進
- ・ ジェンダー平等の継続的な取り組み
- ・ パートナー工場との連携によるサステナビリティの推進



- ・ 透明性と健全性を備えた企業経営の強化

サービスにおけるサステナビリティ活動



オンデマンド生産の仕組みをクラウド化したサービス

ODPS On demand print solutions



シミュレーター付カスタマイズECをクラウド化したサービス

maker town



オンデマンド生産の仕組みをクラウド化したサービスの提供

従来の大量生産システムとは異なり、お客様のニーズに合わせたオンデマンド生産を実現するクラウドサービスを提供しています。これにより、無駄な在庫を抑え、資源の有効活用と環境負荷の低減に貢献しています。

資源の有効活用

環境負荷の低減



オリジナルプリント.jp



サステナブル製品の提供

環境に配慮した素材や製法を採用したサステナブル製品を積極的に使用し、環境負荷の低減に努めています。また長く愛用できる高品質な製品を提供することで、廃棄物の削減にも貢献しています。

環境負荷の低減

廃棄物の削減



オリジナルプリント.jp



AIを用いたお問い合わせ対応

適切なAIツールを選定し、回答精度を高めるためのプロンプトのチューニング、商品データの学習を強化。さらにCRMと連携することで、AIが質問の意図を汲み取った適切な回答から商品のおすすめまで、信用度の高い回答を実現。

顧客対応の効率化・回答精度の向上

AIによる最適な提案

工場におけるサステナビリティ活動



「オンデマンドアパレル」で持続可能なモノづくりを推進

オンデマンドアパレルシステムを開発し、必要なものを必要な量だけ生産することで、過剰生産や在庫ロスを防ぎ、資源の有効活用に貢献。生産計画の高度化や無駄な工程の削減など、生産効率の向上に向けた取り組みも積極的に推進。

過剰生産や在庫ロスの削減

生産計画の高度化・無駄な工程の削減



環境負荷の低減に貢献する顔料インクと昇華染色の採用

環境負荷の低い顔料インクと昇華染色の技術を採用し、水の使用量や廃棄物の削減を実現しています。インクの独自開発など、安全性の高い製品の提供に向けた取り組みも積極的に推進。

水の使用量や廃棄物の削減

環境負荷の低減



工場から出る廃棄物の再資源化（固形燃料化）

工場から出る産業廃棄物を燃料に変換するRPF（リサイクル燃料）を製造し、廃棄物の削減とエネルギーの有効活用に貢献しています。RPFの普及促進にも取り組んでいます。

再資源化・CO2排出量の削減

RPFの普及促進

事業内容

当社ビジネス オンデマンドプリントサービス・ソリューションサービス

オンデマンドプリント サービス

1 自社受注サイト

当社インターネットサイトを経由で受注しプリント加工を行い出荷するサービス

 オリジナルプリント.jp



2 連携パートナー

連携パートナー企業と呼んでいる当社のシステムと接続した会社経由で受注データを取り込みプリント加工を行い出荷するサービス



主なグッズ一例 |

オリジナルグッズ/カジュアルギフト/クリエイターグッズ/
エンターテインメントグッズ/ノベルティ/ユニフォーム


SaaS

ソリューションサービス (ODPS) ※

3 ソフトウェアの提供

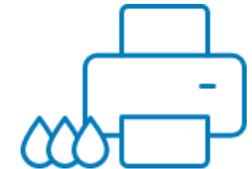
オンデマンドプリントの各ワークフローをOEM及びSaaS型モデルとして提供

 maker town



ハードウェアの提供

プリンター/たたみ機/梱包機等
生産・出荷プロセスに関わる
ハードウェアを提供



※ODPS：当社サービス名「On Demand Print Solutions オンデマンドプリントソリューションズ」の略

2

業績

2024年12月期 第1四半期 業績ハイライト（前年同期は2023年1月～3月試算表数値）

オンデマンドプリントサービス売上高が堅調に推移
季節要因で前年赤字→損益分岐点を超えて黒字転換

売上高

1,512百万円

前年同期比 +19.6%

営業利益

9百万円

前年同期差 +26百万円

経常利益

8百万円

前年同期差 +24百万円

当期純利益

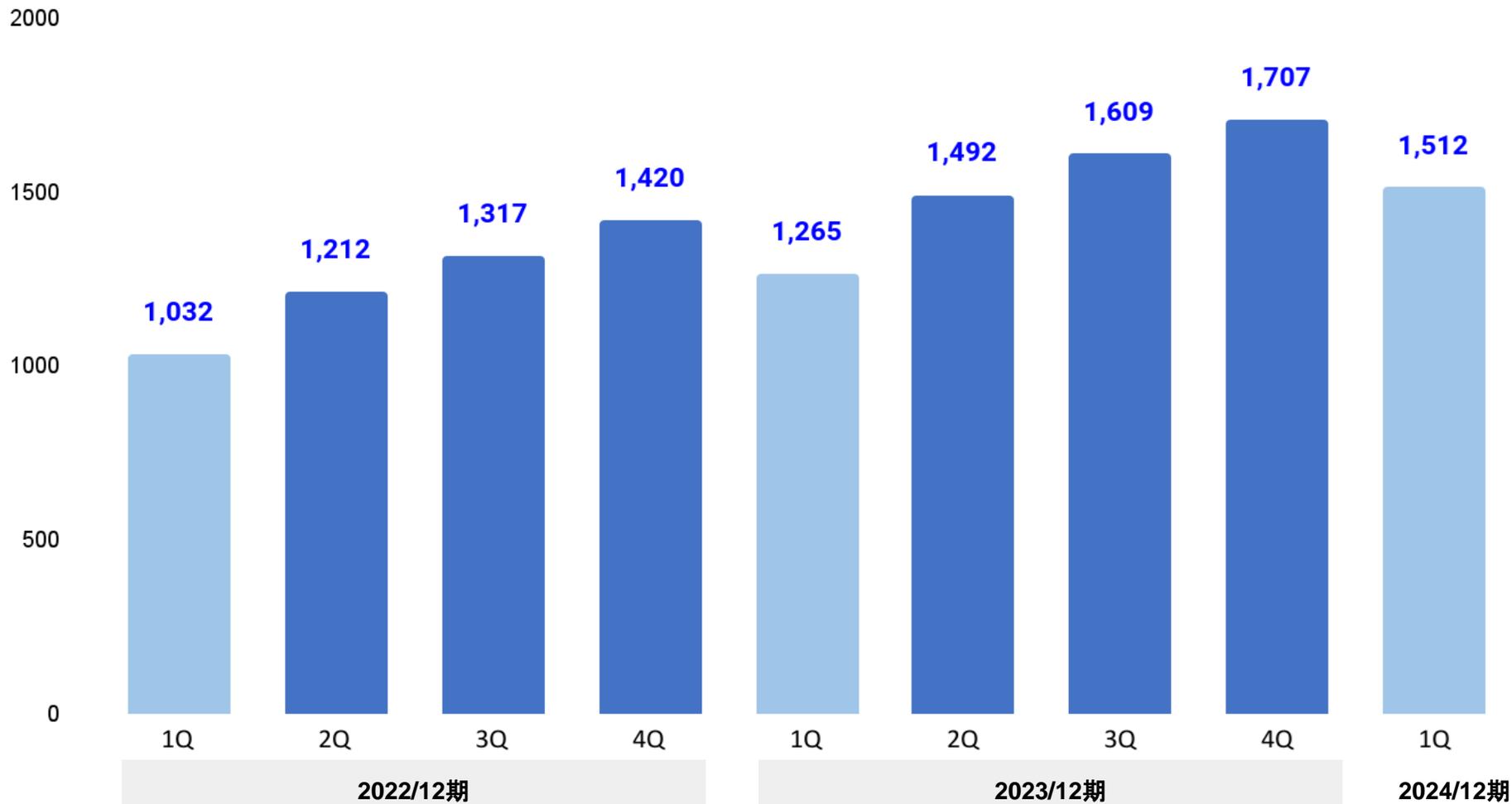
3百万円

前年同期差 +30百万円

四半期売上高推移

各期の実績は2024/12期と同一期間になるように組み替えております。

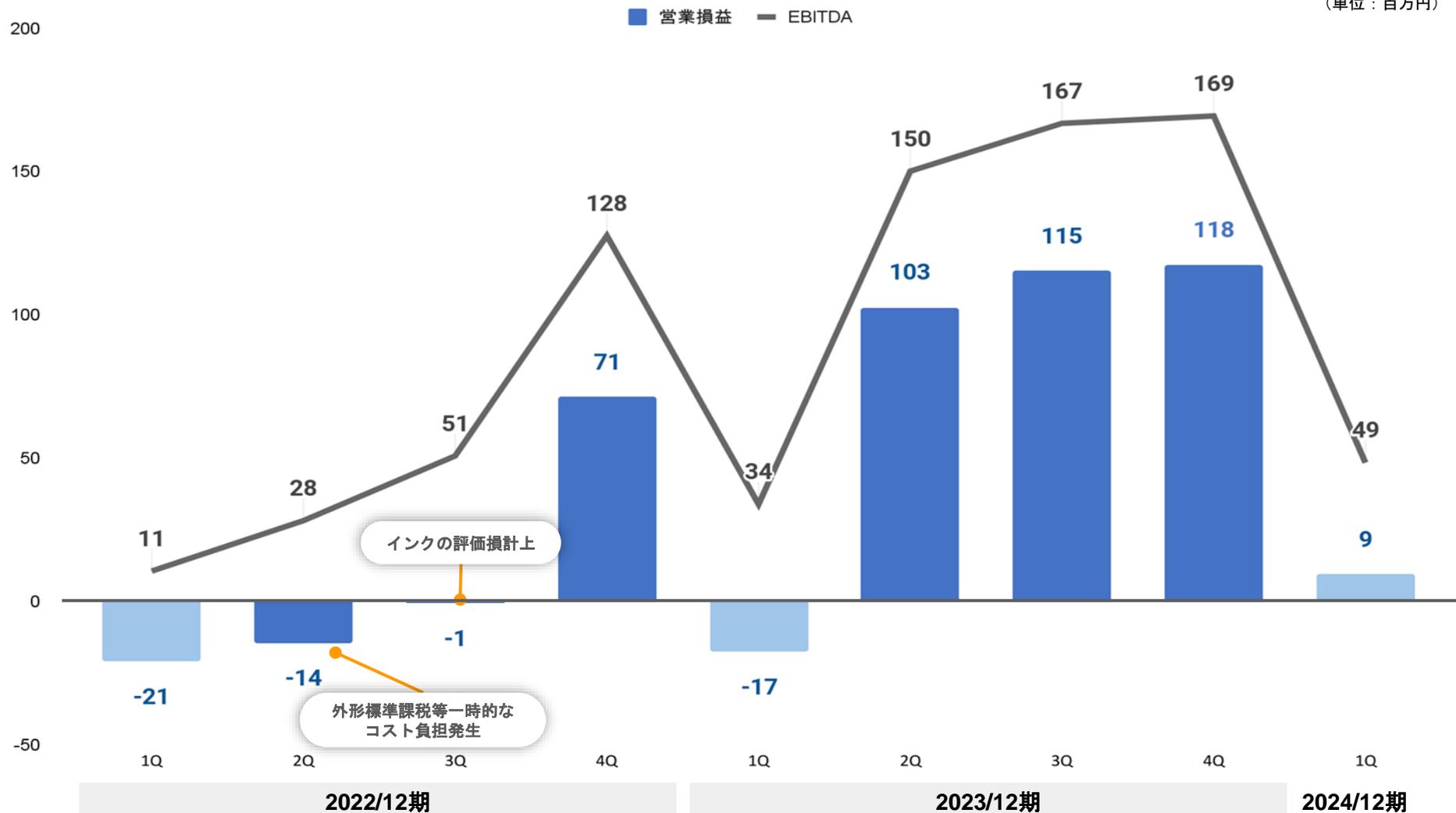
(単位：百万円)



四半期営業損益推移

各期の実績は2024/12期と同一期間になるように組み替えております。

(単位：百万円)



2024年12月期 第1四半期 業績

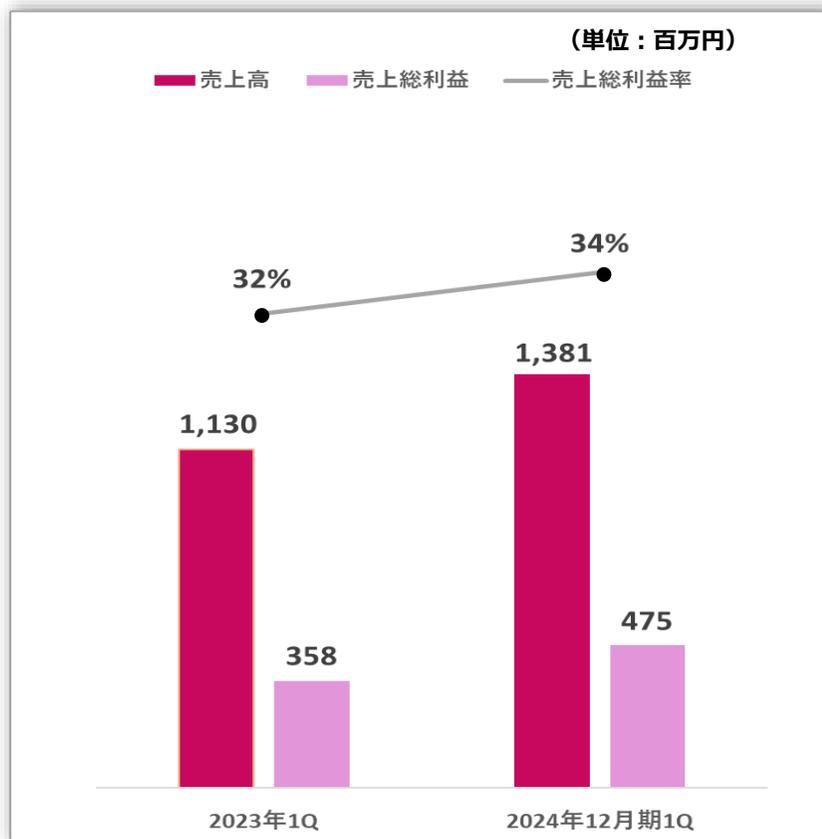
(単位：百万円)	2023年	2024年12月期	前年同期比		2024年12月期通期	
	2023年1月 ～2023年3月 前年同期実績	2024年1月 ～2024年3月 当期1Q実績	増減額	増減率	通期予想	通期予想進捗率
売上高	1,265	1,512	247	19.6%	6,540	23.1%
営業利益	△ 17	9	26	－	150	6.0%
対売上比 (%)	-1.4%	0.6%	+2.0pt	－	2.3%	－
経常利益	△ 15	8	24	－	148	5.4%
対売上比 (%)	-1.2%	0.6%	+1.8pt	－	2.3%	－
当期利益	△ 26	3	30	－	92	3.3%
対売上比 (%)	-2.1%	0.3%	+2.3pt	－	1.4%	－
EBITDA*	34	49	15	45.6%		
対売上比 (%)	2.7%	3.3%	+0.6pt	－		

*：EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）

（前年同期は2023年1月～3月試算表数値）

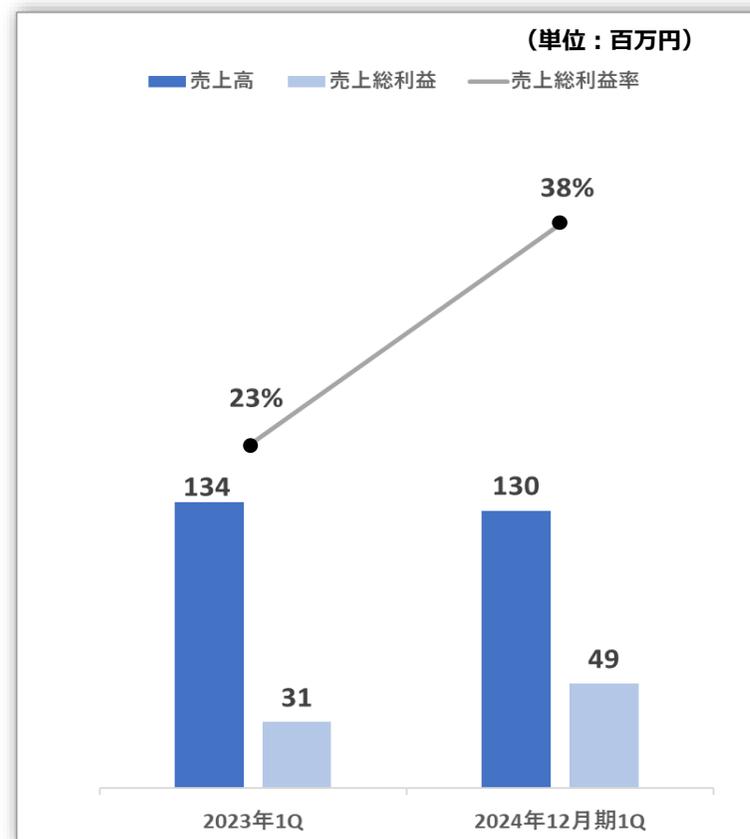
2024年12月期第1四半期 サービス別 前年同期比較（前年同期は2023年1月～3月試算表数値）

オンデマンドプリントサービス



法人のイベントや販売需要を営業で獲得し大きく伸長。
オリジナルプリント.jpの売上高は592百万円から709百万円に20%伸びる。

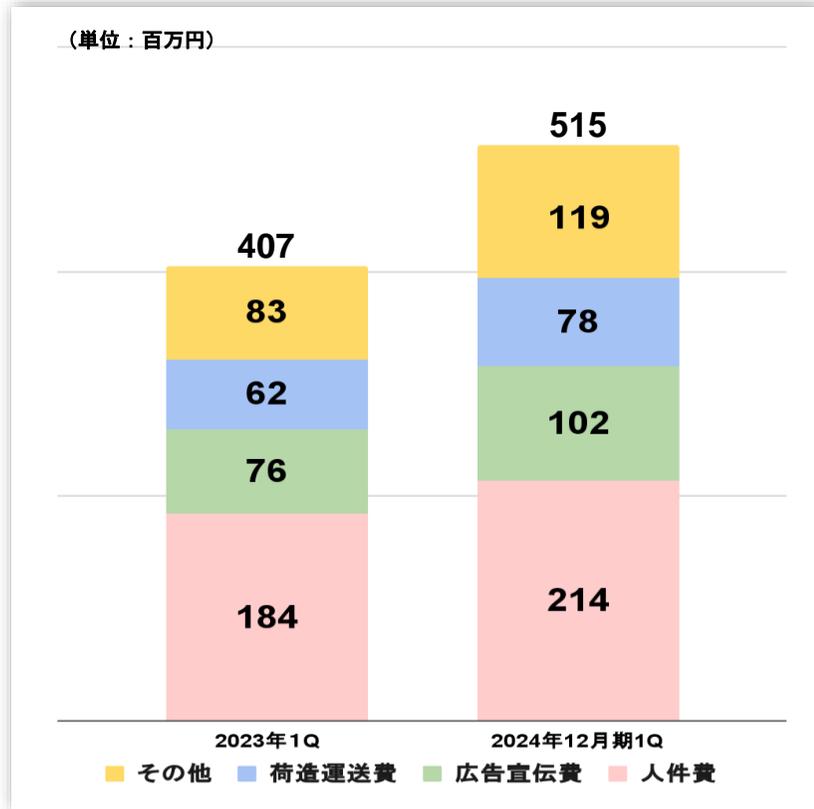
ソリューションサービス



DTFを中心とした消耗品の販売が大きく伸長。
前年同期はDTGでの大型受注があり全体では横ばい。

2024年12月期 第1四半期 業績 販管費の前年同期比較 (前年同期は2023年1月～3月試算表数値)

販売費及び一般管理費の主な内訳



当期販売費及び一般管理費

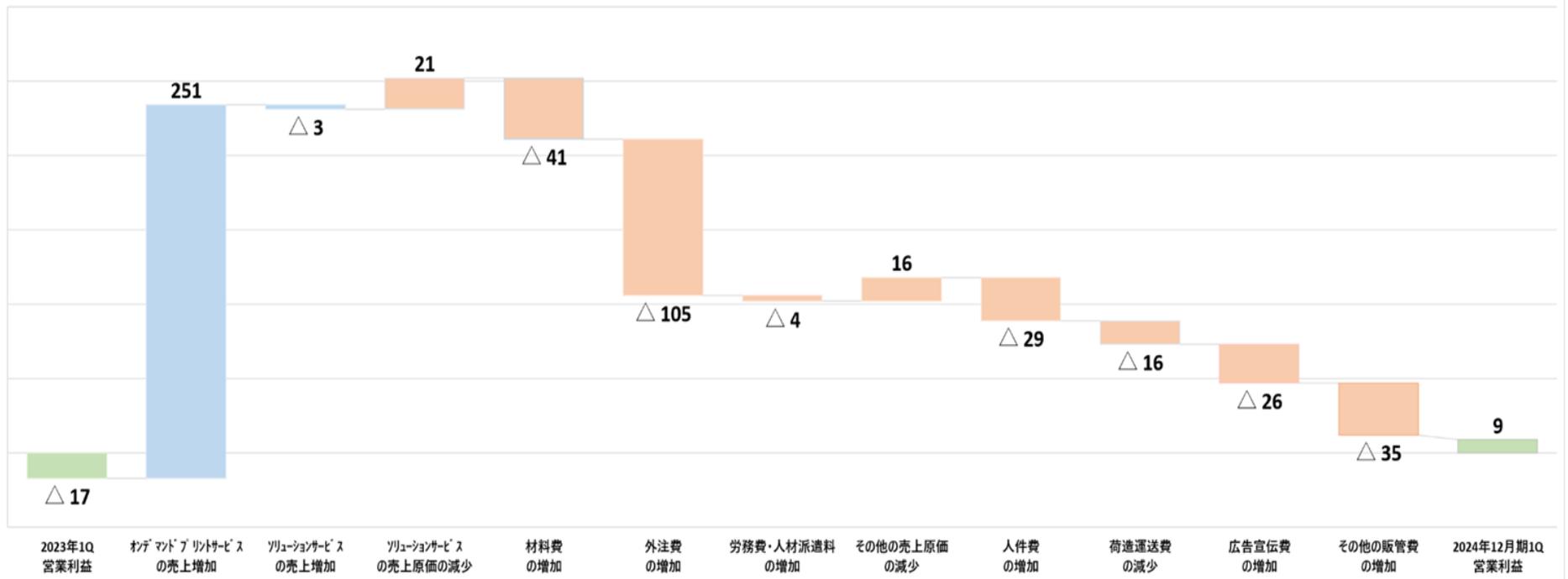
515百万円

前年同期比：107百万円増 (+26.5%)

- **人件費**
システム開発、機械開発部門の人員増による増加
214百万円
前年同期比：29百万円増 (+16.2%)
- **荷造運送費**
オンデマンドプリント売上増に伴う増加
78百万円
前年同期比：16百万円減 (+25.6%)
- **広告宣伝費**
売上に連動させた広告出稿積極化により増加
102百万円
前年同期比：26百万円増 (+34.6%)

営業利益 前年同期比 26百万円増の主な要因

(単位：百万円)



売上の増減

売上原価の増減

販管費の増減

2024年12月期 第1四半期 業績 B/Sサマリ

(単位：百万円)	2023年12月末	2024年3月末	前期末比
	前期末	当1Q	増減額
資産合計	2,685	2,633	△ 51
流動資産	1,762	1,621	△ 140
固定資産	923	1,012	88
負債合計	1,150	1,094	△ 56
流動負債	819	784	△ 35
固定負債	331	309	△ 21
純資産	1,534	1,539	4
総資産	2,685	2,633	△ 51
有利子負債	408	378	△ 29
現預金残高	862	638	△ 223
ネットキャッシュ	453	259	△ 193
自己資本比率 (%)	57.1%	58.5%	1.4pt

2024年12月期第1四半期 研究開発費/研究開発型設備投資

研究開発関連費用：67百万円

(研究開発費：16百万円 + 設備投資額：15百万円 + 関連経費：35百万円)

開示可能主要研究カテゴリー

TransJet



次世代DTFプリント
システムの開発



DTFプリント
効率化ソリューションの開発

CGXi × **IMAGEMAGIC**



印刷材料の
配置・搬送を
自動化



Tシャツを脱がす
工程などを
自動化



カメラ搭載で
識別しながら
次工程連携



プリンターとの
連携により
人の工程削減

CGXi社の協働ロボットを活用した
ソリューションを加速

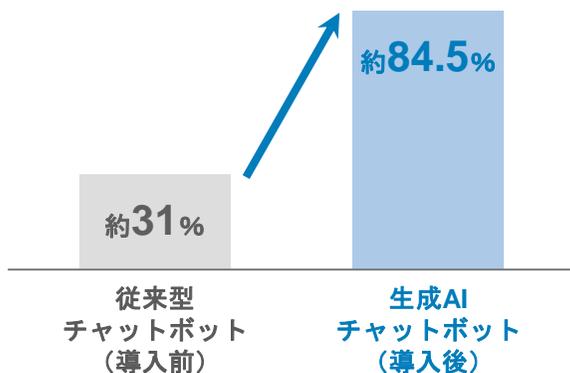
3

今後の成長戦略

省力化・自動化の取り組み

AI、協働ロボット、自動化装置開発の3つの柱で生産革新を推進

生成AI導入の効果
問い合わせに対する解決率が
飛躍的に向上



営業における全プロセスへのAI導入を推進中

- 蓄積された全ナレッジをAIに学習させ、FAQ、問い合わせ対応、サービス対応、工場内のナレッジなどを自動化
- これにより、担当者の負担軽減、迅速な対応、精度の高い情報提供を実現し、顧客満足度向上と業務効率化を目指す

協働ロボットによる生産性向上と人材活用

- 協働ロボットメーカーCGXi社と協業し、ロボットアームの販売権を取得
- 人とロボットが協働で単純作業を自動化し、作業のスピードと精度を向上
- 生産性を飛躍的に高め、人材をより付加価値の高い業務へシフトを目指す

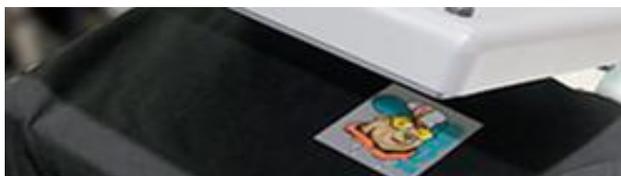
省力化・自動化装置による徹底的なムダの排除

- UV印刷やシルク印刷などのDX化装置を自社開発
- 独自のノウハウで自社に最適な装置を開発し、生産性向上とコスト削減の達成を目指す

次世代DX化装置開発メンバーを増強 研究開発を加速

カテゴリ	印刷・加工方法			
 アパレル	製品	シルクスクリーン印刷	量産の印刷方法では主流で装置が完成され進化していない まだ周辺装置で進化の余地あり	関連装置研究開発
		DTG	プリンターメーカー主導で進化	—
		DTF	世界で市場拡大	次世代プリンター 自動化装置開発
		刺繍	—	研究開発
	生地	デジタル捺染 染料	市場の90%染料と圧倒的だが 環境負荷が高いため徐々に減少傾向	—
		デジタル捺染 顔料	今後拡大する市場	事業投資
 雑貨	UV印刷		現状の装置では 自動化が困難で生産性も低い装置が主流	自動化に適した 装置研究開発

印刷手法について



DTF転写 (Direct to Film)

貼る

- ・旧来の方法から進化
- ・DTFはフィルム出力したものを熱で貼る方法

綿・ポリエステル・ナイロンをはじめ、
様々な素材に対応

耐久性も強くユニフォームなど
様々な分野で拡大

旧来の転写は不向きだが
DTFはオンデマンドに向く

2020年頃から
急拡大中



DTG (Direct to Garment) インクジェットプリント

吹く (塗布)

- ・1点からフルカラーで印刷できる
- ・大量生産してもコストはあまり変わらない

綿・ポリエステルのみに対応

アパレル企業を中心に拡大

オンデマンドに最適

オンデマンドに最適のため
高速化や省力化が加速



シルクスクリーン印刷

刷る

- ・古くからある印刷方法
- ・1色ごとに版が必要
- ・小ロットには向いていないが、
数が増えれば最も安価で作ることが可能

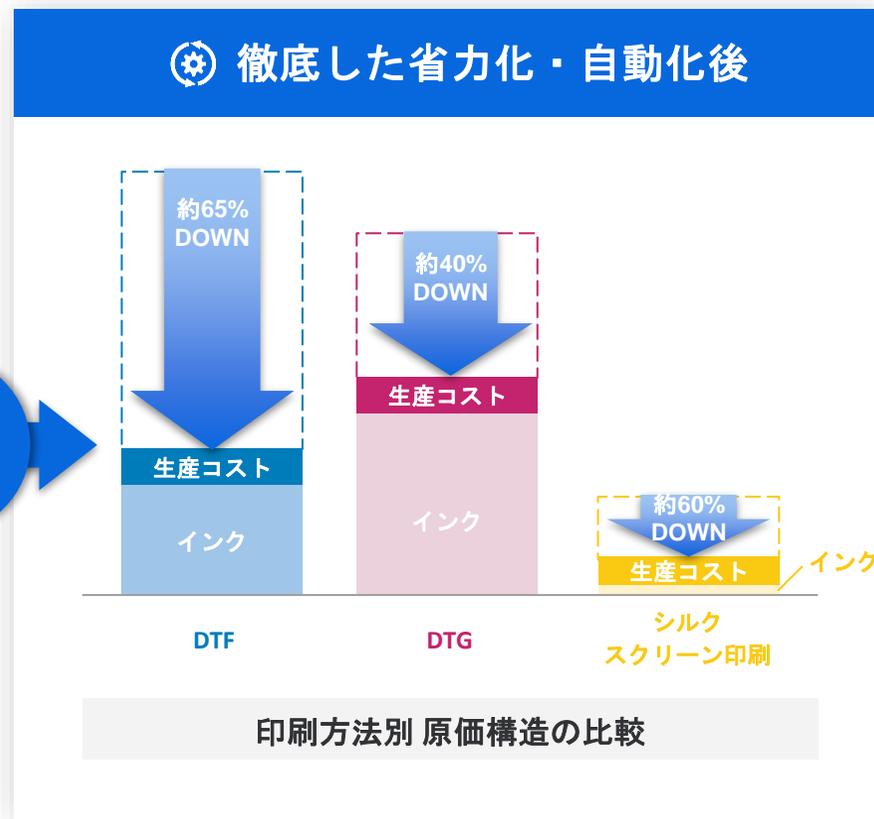
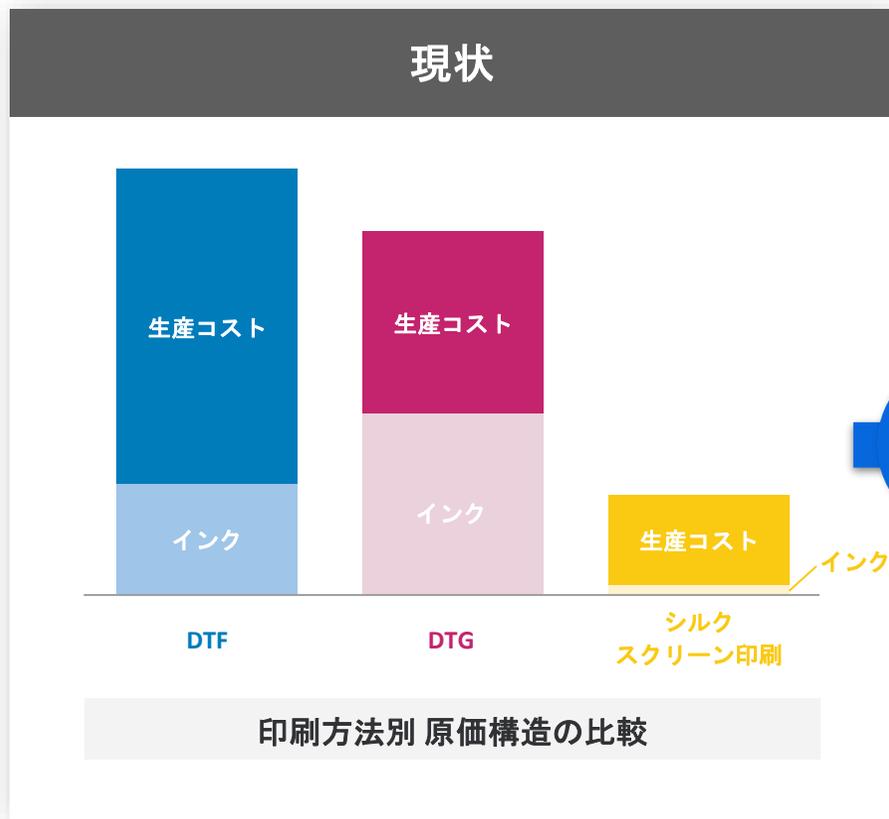
様々な素材に対応

量産はほぼこの方法

オンデマンドに不向き

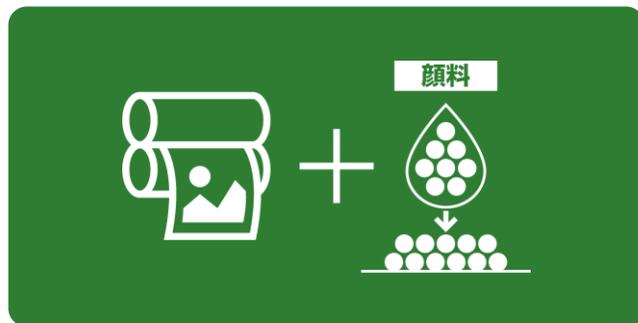
低コストのため
なくなることはない

印刷方法別のコストイメージ



自社開発装置やロボット化による省力化
コスト削減を目指す

テキスタイル生地への印刷手法について



デジタル捺染 顔料	デジタル捺染 染料	アナログ捺染 染料
インクジェット印刷	インクジェット印刷	スクリーン印刷
<ul style="list-style-type: none"> ・風合いが硬い ・堅牢度が低い ・黒の発色が弱い が、技術進歩で解決段階	<ul style="list-style-type: none"> ・風合いも柔らかい ・耐久性も高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・風合いも柔らかい ・耐久性も高い
前処理・印刷・乾燥 1工程	前処理・印刷・蒸し・洗浄・乾燥 それぞれ別工程	前処理・印刷・蒸し・洗浄・乾燥 それぞれ別工程
超短納期が実現	工程が多く納期も長い	工程が多く納期も長い

環境負荷が少なく
今後急速にシフト

生地の95%近くは染料で印刷

雑貨製品の印刷手法について



UV印刷	ホットスタンプ	パッド印刷	シルクスクリーン印刷
・インクジェットプリンターで1点から可能	・金属箔を熱と圧力で転写し、高級感を演出する印刷技術	・シリコンパッドでインクを拾い、転写印刷	・絹目状の版でインクを押し出し、鮮明な印刷を実現する技術
デジタル印刷	型が必要 アナログ印刷	1色ごとに製版が必要 アナログ印刷	1色ごとに製版が必要 アナログ印刷
	耐久性も強い	プラスチック系素材のノベルティ用途に最適	素材を選ばないノベルティ用途に最適
オンデマンドに最適	オンデマンドには不向き	オンデマンドには不向き	オンデマンドには不向き

フルカラーで少量でも大量にも対応

少数には不向きで、多色も不向き
ロットが増えると非常に安価

ロボットアームによるオンデマンドプリントの自動化・省力化・省人化

プリント機器と前後工程の連携により 生産工程の連動をスムーズに



海外展開

プリントオンデマンドプラットフォームの 海外展開を実現していく



ASEANの生産拠点にソリューション提供予定 オンデマンドプリントマーケットの成長に対して参画していく

※2024年2月に欧州での展示会に当社製品を出品いたしました。

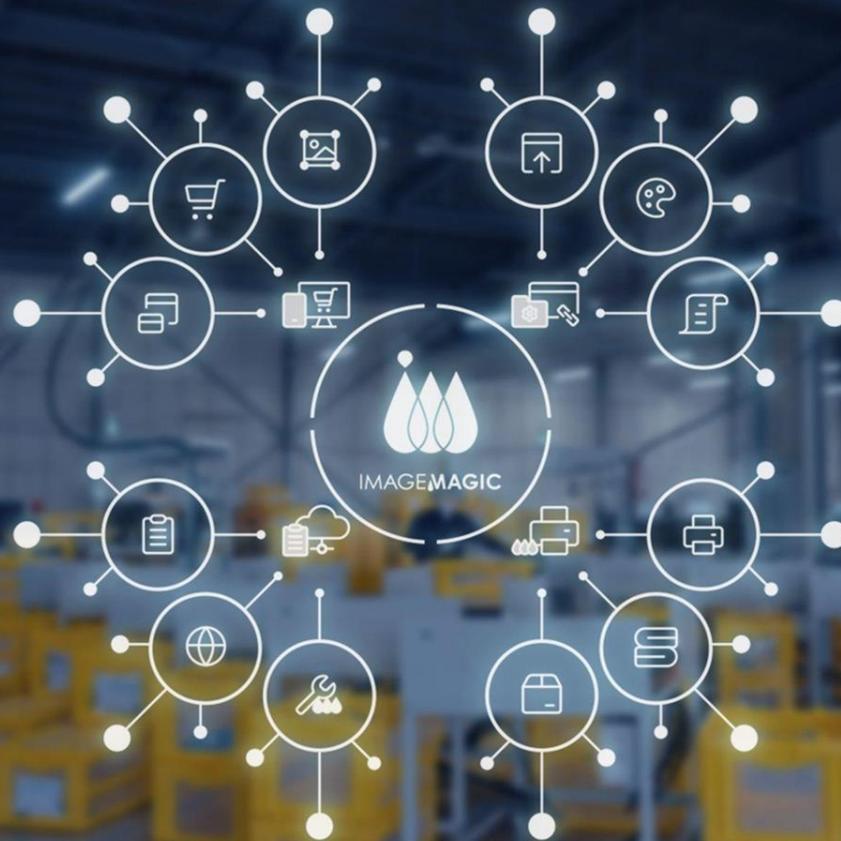
※2024/12期においてベトナム・パートナー工場で製造ライン試験運用を開始予定です。

4

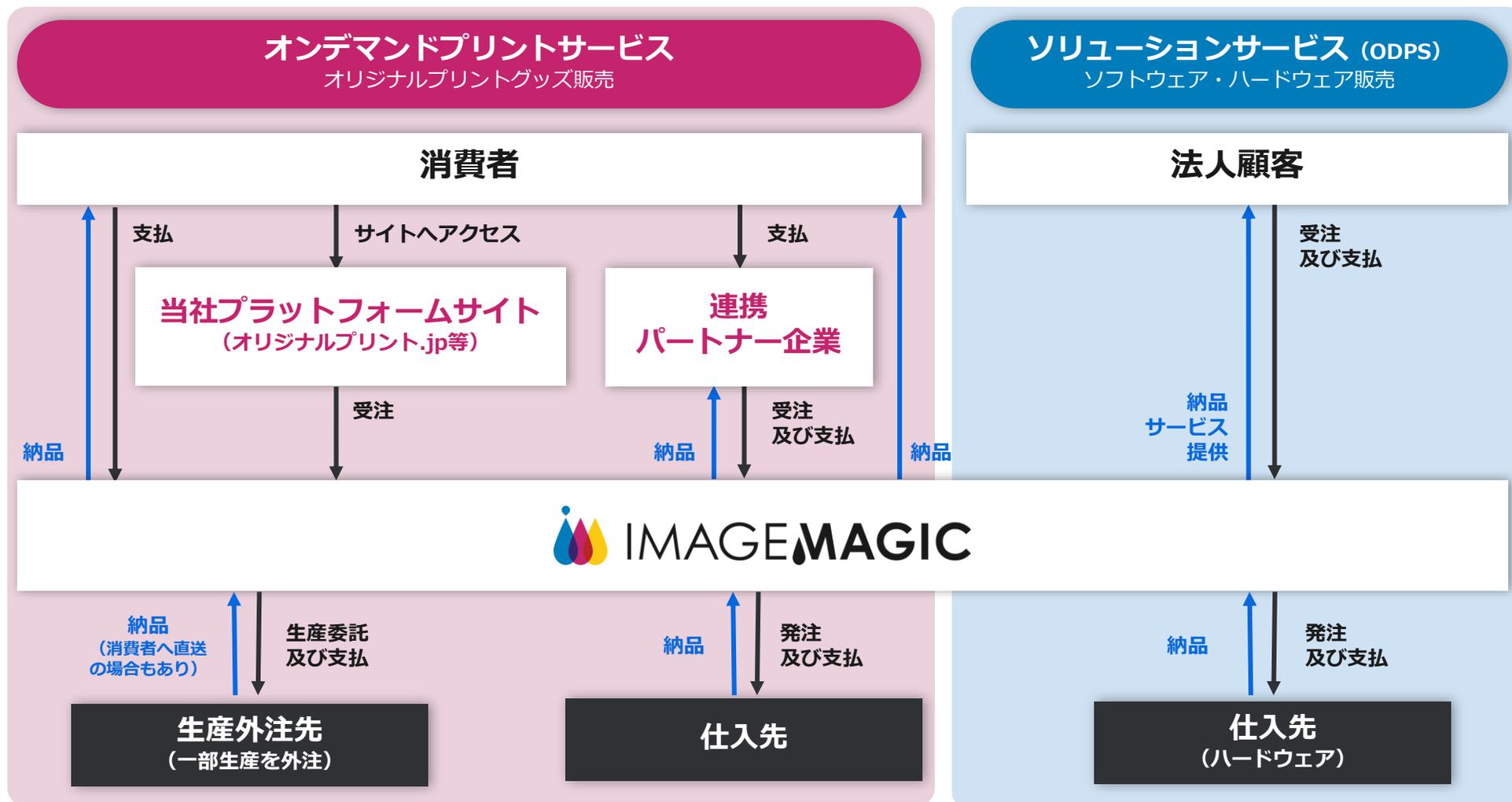
Appendix

会社概要

会社名	株式会社イメージ・マジック
事業内容	オンデマンドプリントプラットフォームの提供
設立	1995年5月
代表者	代表取締役社長 山川 誠
資本金	302百万円（2024年3月末現在）
所在地	<p>本社 Tokyo 東京都文京区小石川1-3-11 ライジングスクエア後樂園</p> <p>GPC工場 Gifu 岐阜県多治見市旭ヶ丘10-6-17</p> <p>川越工場 Saitama 埼玉県川越市今福1443-1 3F</p> <p>東京ショールーム Tokyo 東京都中央区日本橋3-15-8 アミノ酸会館ビル1F</p>



プリント×ITで新たな価値を創造する オンデマンドプリントプラットフォーム



1 オリジナルプリント.jp



国内最大級かつ
シミュレーター付オンデマンドECにより
受注自動化のパイオニア

- ・オリジナルグッズを作成できるECサイト
- ・当社独自開発のデザインツールにより簡単にカスタマイズ可能
- ・価格/納期/仕上がりイメージを事前に確認可能なサービスのパイオニア
- ・アパレル・雑貨等
約1,900種類の豊富なアイテムを1点から作成可能
- ・注文から出荷連絡までのサイトオペレーションを自動化



アイテムを
選ぶ



デザインツール
を使って
カスタマイズ



価格/納期等
お客様が知りたい
情報を事前に
確認してから発注



② 連携パートナー/法人からの受注

拡大しているオンデマンドプリントの ビジネスフロー

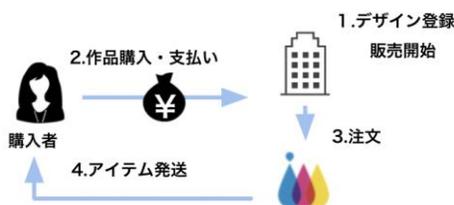
例：クリエイター



ビジネスフロー

- デザイン提供者であるクリエイターの出品アイテムの販売に対応
- 受注、生産、アイテムの出荷まで、クリエイターの手間が全くかからない

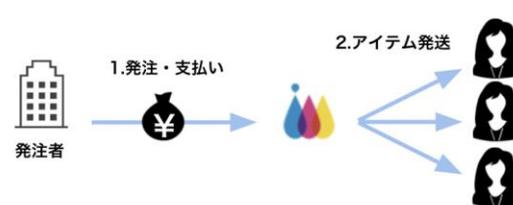
例：コンテンツホルダー



ビジネスフロー

- 販売する会社はキャラクター・有名人などのコンテンツを用意するだけで、幅広いアイテムの販売が可能
- 購入者が注文した後に、アイテムを作成して出荷するため在庫ロスなし

例：バリエブル印刷※



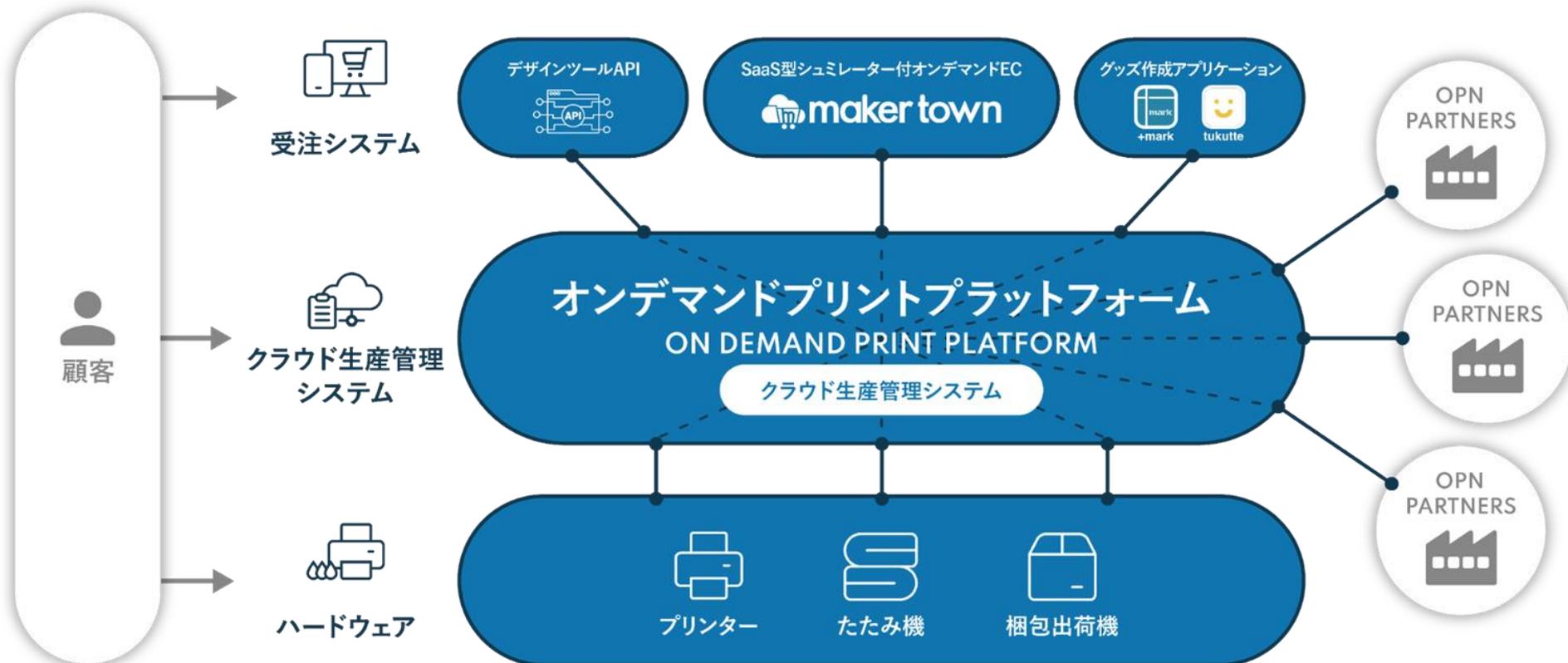
ビジネスフロー

- オンデマンドプリントのワークフローを活用し、小ロットからのオーダーが可能
- システム連携を前提とした1オーダー1デザインの購入者ごとのバリエブル印刷に対応

※バリエブル配送：データベースから情報を抽出し1案件ずつ異なる宛先への配送を行うこと

3 ソリューションサービス ビジネスモデル

受注から生産管理システム、ハードウェア等の
自社開発サービスをソリューションとして提供



本資料の取り扱いについて

- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の作成時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しており、当社はそのような一般に公知の情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。
- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。